

慢性腎臓病 (CKD) は 私達の生活をおびやかす 新たな「国民病」です!

最近、慢性腎臓病(CKD)という新しい病気概念が注目されています



慢性腎臓病 (CKD; Chronic Kidney Disease) とは?



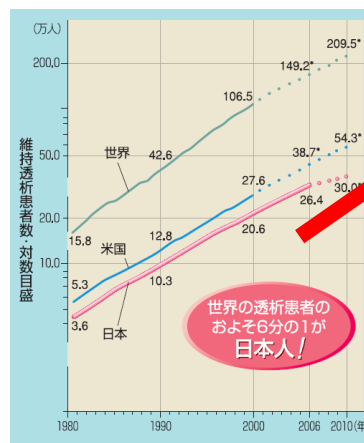
- ① 蛋白尿など、腎臓の障害がある
- ② 糸球体濾過量(GFR)が60未満に低下している

CKDは①か②のいずれかが3カ月以上持続した状態です

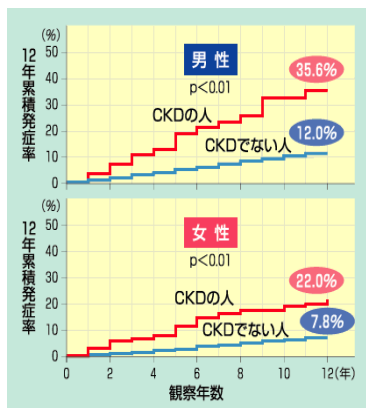
1. 慢性腎臓病(CKD)は透析を要する 腎不全の予備軍です

世界、米国、日本で透析患者さんは増えています

慢性腎臓病(CKD)が重症化すると透析治療が必要になります。日本の透析患者さんは約30万人、国民の約400人に1人です。透析患者さんの増加は、世界共通の問題です。



CKDがある人は心血管疾患になりやすい



CKDの有無別にみた心血管疾患の累積発症率
男女2,634人、1988-2000年、無調整
(Ninomiya T, et al: Kidney Int 68, 228-236, 2005より改変)

2. 慢性腎臓病(CKD)は心筋梗塞や脳卒中などの 心血管疾患に対する重大な危険因子です

最近になり、中程度の腎機能低下や、蛋白尿があると、心筋梗塞や脳卒中といった心血管疾患の危険が高まることが分かってきました。慢性腎臓病(CKD)では心血管疾患の発症率が約3倍と報告されています。

3. 慢性腎臓病(CKD)推定患者数は約1,330万人、新たな国民病です!

慢性腎臓病(CKD)は自覚症状がないため、ほとんどの慢性腎臓病(CKD)患者さんは自分が病気であることを知りません! 必ず健康診断を受けましょう。